

ラグビーワールドカップを見に行こう！

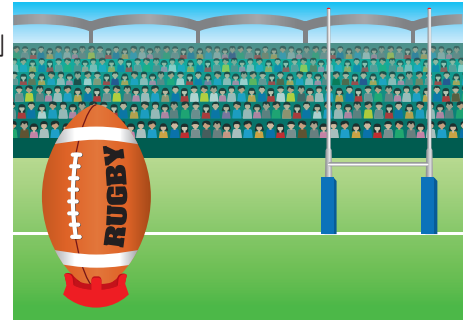
2020年に東京オリンピックが開催されますが、今年もビックイイベントがあります。それが、「ラグビーワールドカップ2019 日本大会」。五郎丸フィーバーに沸いた、前回のイングランド大会から4年。日本全国に世界最高峰の選手たちがやってきます。

優勝候補筆頭はニュージーランド。試合前に相手を威嚇する舞踏「Haka」はあまりにも有名ですし、日本代表も虎視眈々と決勝トーナメント進出を狙っています。


日程は9月20日から11月2日まで、北海道から九州までのスタジアムで熱い試合が開催されます。

人気カードや関東圏のチケットは、ほぼ完売していますが、地方開催や平日の試合は、まだ入手可能のようです。

ぜひ、感動の瞬間をスタジアムで…。



「Eco列車でいこう！」～第122回～ 長岡の大花火！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！) 

8月3日(土)、夕方の新潟駅。券売機前は長蛇の列だ。今日は長岡花火の2日目である。

今回は「びゅう旅行商品/長岡まつり大花火大会日帰りパック」を利用する。事前予約が必要であるが、往復の切符と観覧席が着いて3900円。新幹線を利用すると片道につき1000円の追加料金がかかる。

「行き」は時間があるので、在来線利用とする。16:09発普通列車長岡行きは6両編成。一番後ろの空いている車両に乗った。

新津、加茂などで多数の乗車があり、東三条ではぎゅうぎゅう詰めになった。車窓ののどかな雰囲気とは裏腹に、車内は殺伐としてきた。見附ではついに積み残しが発生。乗れなかった家族連れがかわいそうである。土曜日の開催でいつも以上に見物客が集中したのだろう。

混雑の影響で、10分遅れの17:40に長岡着。全国からの見物客でごった返す長岡駅から「アオーレ長岡」に進み、花火の座席指定券とプログラムをもらう。

このまますぐに河川敷の席に向かっても良いが、夜になっても蒸し暑いので、居酒屋へ避難する。

冷房の効いた店内で、生ビールを飲み、焼き鳥を食べて時間を過ごす。18時30分を過ぎると、客がぞくぞくと外に出て花火会場へ向かっていくので、もう少し飲んでいたかったが、店を後にした。

19時を過ぎた頃に河川敷に到着。指定されたブルーシートは広々としており、のんびりと花火鑑賞ができそうだ。慰霊と平和への祈りをこめた「10号3発」から始まり、復興祈願花火「フェニックス」、「米百俵花火」(尺玉百連発)、「ナイアガラ」、「正三尺玉」など、存分に堪能した。

家路へと急ぐ人波は、みな駅へと向かう。駅前にはDJポリスが登場「おまわりさんは、みなさんが全員無事に家に帰るのを願っています。」などとアナウンスすると、混雑している人々から笑いがあふれた。

「新幹線新潟方面」「東京方面」「在来線新潟方面」「越後湯沢方面」など、完璧なJRの案内にしたがえば、ストレスなく駅のホームに到着でき、22時過ぎの新幹線に乗車することができた。

大曲、土浦と並ぶ「日本三大花火」の一つが、新潟県内で開催されることは大変うれしい。安全で素晴らしい花火大会を開催してくれる長岡の人々に敬意を表したい。



(写真:長生橋のナイアガラ)